

光が丘第二中学校・光が丘春の風小学校 課題改善カリキュラム 算数・数学

| 学年   | 単元名                      | 学習内容                                                               | 単元の目標                                                                       | 数学的な考え方                                                                                              | 数量や図形についての技能                                                | カリキュラム改善の視点                                                                                          |
|------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1学年 | あわせていくつ ふえるといくつ          | 加法の意味<br>和が10以内の加法計算<br>用語＋，＝く，たしざん                                | ■加法の意味と和が11以内の加法計算の仕方を考え理解し，確実にできるようにするとともに，それを用いることができるようにする。              | ◎合併や増加などの場面を，どちらも加法の関係として関連づけてみることができる。<br>◎和が10以内の加法計算の仕方を1位数の構成に着目して考えたり，操作によって表現したりすることができる。      | ○和が10以内の加法計算が確実にできる。                                        | ●式が表す意味をよく考えて立式することを指導する。                                                                            |
|      | のこりはいくつ ちがいはいくつ          | 減法の意味<br>被減数が10以内の減法計算<br>用語－，ひきざん                                 | ■減法の意味と被減数が10以内の減法計算の仕方を考え理解し，確実にできるようにするとともに，それを用いることができるようにする。            | ◎求残や求補，求差の場面を，どれも減法の関係として相互に関連づけてみることができる。<br>◎被減数が10以内の減法計算の仕方を1位数の構成に着目して考えたり，操作によって表現したりすることができる。 | ○被減数が10以内の減法計算が確実にできる。                                      |                                                                                                      |
|      | 3つのかずのけいさん               | 簡単な3口の数の加減計算                                                       | ■3つの数の加減計算の仕方を考え理解し，確実にできるようにするとともに，それらを用いることができるようにする。                     | ◎2つの数の加法や減法を基に，3つの数の計算の仕方を考え，表現することができる。                                                             | ◎3つの数の加減計算の場面を1つの式に表し，その計算が確実にできる。                          |                                                                                                      |
|      | たしざん                     | 繰り上がりのある1位数どうしの加法計算                                                | ■1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を考え理解し，確実にできるようにするとともに，それを用いることができるようにする。            | ◎1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を考え，操作や言葉などを用いて表現したり工夫したりすることができる。                                            | ○1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が確実にできる。                                |                                                                                                      |
|      | ひきざん                     | 繰り下がりのある11～18－1位数の減法計算                                             | ■11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考え理解し，確実にできるようにするとともに，それを用いることができるようにする。      | ◎11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を考え，操作や言葉などを用いて表現したり工夫したりすることができる。                                      | ○11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算が確実にできる。                          |                                                                                                      |
|      | どんなけいさんになるのかな            | 加減についての演算決定                                                        | ■加法や減法を適用して問題を解決することを通して，演算を決定する能力を伸ばす。                                     | ◎問題文を読み，それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決する。<br>◎絵を見て作問し，解決する。                                                  | ◎適切な立式をして，問題を解決することができる。                                    |                                                                                                      |
|      | ずをつかって かんがえよう            | 順序・順序数に関する加法や減法<br>異種の量について加法や減法が適用できること<br>加減の意味の拡張(求大，求小)        | ■順序数や異種の数量を含む加減の場面，求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し，それを用いることができるようにする。         | ◎順序数や異種の数量を含む加減の場面，求大や求小の場面を図に表し，問題の構造をとらえて考えることができる。                                                | ◎順序数や異種の数量を含む加減の場面，求大や求小の場面を式に表し，解決することができる。                |                                                                                                      |
| 第2学年 | たしざんのしかたをかんがえよう[たし算のひっ算] | 2位数と1～2位数の加法計算<br>加法の筆算形式<br>用語 ひっ算                                | ■2位数の加法の筆算の仕方について理解し，確実にできるようにするとともに，それを用いる能力を伸ばし，加法についての理解を深める。            | ◎2位数の加法の筆算の仕方を，図や式などを用いて考え表現することができる。                                                                | ○2位数の加法計算について，筆算の手順を基に，確実に計算することができる。                       | ●式が表している内容を図に表す活動を取り入れて指導する。<br>●立式の理由を具体物や図などを使って，ペアやグループ，全体で説明できるようにする。                            |
|      | ひき算のしかたをかんがえよう[ひき算のひっ算]  | 2位数から1～2位数をひく減法計算<br>減法の筆算形式<br>用語 ひっ算                             | ■2位数の減法の筆算の仕方について理解し，確実にできるようにするとともに，それを用いる能力を伸ばし，減法についての理解を深める。            | ◎2位数の減法の筆算の仕方を，図や式などを用いて考え表現することができる。                                                                | ○2位数の減法計算について，筆算の手順を基に，確実に計算することができる。                       |                                                                                                      |
|      | どんな計算になるのかな              | 2位数の加減についての演算決定                                                    | ■2位数の加減法を適用して問題を解決することを通して，演算を決定する能力を伸ばす。                                   | ◎問題文を読み，どのような式になるかを考えて解決する。<br>◎絵を見て作問し，友達と問題を出し合うなどして解決する。                                          | ◎適切な立式をして，問題を解決することができる。                                    |                                                                                                      |
|      | 計算のしかたをくふうしよう[計算のくふう]    | 加法の結合法則，()の使い方<br>簡単な加減の暗算のしかた                                     | ■加法の結合法則，簡単な加減の暗算の仕方を理解することを通して，加減計算についての理解を深め，それを用いる能力を伸ばす。                | ◎()の中を1つの数とみて，式の意味を考え表現したり，場面を式に表したりすることができる。                                                        | ○3口の数の加法計算について，結合法則などを基に，工夫して計算することができる。<br>○簡単な加減法の暗算ができる。 |                                                                                                      |
|      | 図をつかって考えよう[たし算とひき算]      | 減法逆の加法，加法逆の減法等の問題解決<br>加法と減法の相互関係                                  | ■加法と減法の相互関係について理解して，場面を式に表したり式を読み取ったりし，問題を解決する能力を伸ばす。                       | ◎場面を図に表して構造をとらえ，式について考え表現することができる。                                                                   | ◎加法と減法の相互関係を表した図を用いて，図や式に表し，問題を解決することができる。                  |                                                                                                      |
| 第3学年 | 九九を見なおそう[かけ算]            | 乗数と積の関係，乗法の交換法則<br>被乗数分解や乗数分解による乗法の性質<br>乗法九九を適用して未知数の乗数や被乗数を求めること | ■乗法に関して成り立つ性質やきまりなどの理解を深め，乗法を適切に用いる能力をいっそう伸ばす。                              | ◎乗法に関して成り立つ性質やきまりを基に，九九の範囲を超える乗法の計算の仕方を，図や式を用いて考え，表現することができる。                                        | ○被乗数や乗数が0や10の乗法計算をすることができる。                                 | ●図，数直線，線分図をていねいに読み取り，言葉の式に表したり，あてはめたりして問題の場面をとらえさせる。<br>●自分が立てた式について，根拠をもった説明をするために表や図，数直線，線分図を活用する。 |
|      | 新しい計算を考えよう[わり算]          | 除法の意味(等分除・包含除)<br>除数と商が1位数の除法の答えの求め方                               | ■除法の意味について理解し，それを用いることができるようにする。                                            | ◎等分除と包含除を除法として統合してとらえ，具体物や図，式を用いて計算の仕方を表現することができる。                                                   | ○除法の計算が確実にできる。                                              |                                                                                                      |
|      | 大きい数の計算を考えよう[たし算とひき算の筆算] | 3位数と2～3位数の加法計算<br>和が3位数，4位数の場合<br>3位数から1～3位数をひく減法計算<br>波及的に繰り下がる場合 | ■3～4位数の加減法の筆算について理解し，それを適切に用いる能力を伸ばす。                                       | ◎3～4位数の加減法の筆算の仕方を，2～3位数の場合を基に類推して，図や式などを用いて表現し，筆算の仕方を一般化してまとめることができる。                                | ○3～4位数の加減計算を筆算の手順を基にして，計算が確実にできる。                           |                                                                                                      |
|      | 考える力をのばそう「重なり」に目をつけて」    | 図を活用した，重なりのある2つの長さの和の求め方                                           | ■2つの量の重なる部分に着目して解く問題の解決を通して，問題解決の能力を伸ばす。                                    | ◎数量の関係をテープ図に表すと分かりやすいことに気づき，それを用いて式に表すことができる。<br>◎2つの量の重なる部分に着目して，答えの求め方を説明することができる。                 | ◎テープ図を見て様々な立式をし，答えの求め方を考えることができる。                           |                                                                                                      |
|      | わり算を考えよう[あまりのあるわり算]      | 除数と商が1位数で余りのある除法計算<br>余りと除数の大きさの関係<br>答えの確かめ方<br>余りのとらえ方           | ■わり切れない場合の除法について理解し，除法の意味について理解を深めるとともに，それを用いることができるようにする。                  | ◎わり切れる場合とわり切れない場合の除法を統合してとらえ，除法の意味や計算の仕方を具体物や図，式を用いて表現することができる。                                      | ○わり切れない場合の除法の計算ができ，商や余りを求めることができる。                          |                                                                                                      |
|      | かけ算の筆算[倍の問題]             | 倍の第二用法，第一用法                                                        | ■基準量を求める場合には，□を用いて乗法の式に表し，除法を用いて□を求めればよいことを理解する。                            | ◎数量の関係を数直線を基にとらえ，□を用いた式に表すことを考え，説明している。                                                              | ◎未知数を□として乗法の式に表し，□の値を求めることができる。                             |                                                                                                      |
|      | 考える力をのばそう[全体と部分に目をつけて]   | 減法逆の減法などの問題を，図などを使って考える問題解決                                        | ■減法逆の減法などの問題を，図や□を使って解決することを通して，問題解決の能力を伸ばす。                                | ◎テープ図や数直線図の空いているところにあてはまる数を書き，答えの求め方を考えることができる。                                                      | ◎適切な立式をして，問題を解決することができる。                                    |                                                                                                      |
|      | □を使って場面を式に表そう[□を使った式]    | 未知の数量を□として，加法，減法，乗法の式で表し，□の値を求めること                                 | ■未知の数量を□を用いて表し，関係や場面を式や図に表したり，式を読み取って場面に表したりすることができるとともに，□にあてはまる数の調べ方を理解する。 | ◎式は数量の関係や場面を簡潔に表すものとして，未知の数量を□を用いて式に表したり，図に表すことと関連づけたりして，数量の関係を的確にとらえることができる。                        | ◎未知の数量を□を用いて表すことで，問題の場面を式や図に表したり，式を読み取って場面に表したりすることができる。    |                                                                                                      |
|      | 考える力をのばそう「間の数」に目をつけて」    | 等間隔に配置されたものの数と，その間の数との関係に着目して考える問題解決                               | ■直線や円周上に等間隔に配置されたものの数と間の数との関係に着目して問題を解決することを通して，問題解決の能力を伸ばす。                | ◎対応の考えを基に，直線上に等間隔に配置された場合について，間の数とものの数の関係を考えることができる。                                                 | ◎図を見て立式し，間の数と木の数が等しいことに気づき，答えを求めることができる。                    |                                                                                                      |

| 学年   | 単元名                                 | 学習内容                                                                                                          | 単元の目標                                                                                                                          | 数学的な考え方                                                                                                    | 数量や図形についての技能                                                                                                                  | カリキュラム改善の視点                                                                                                                                 |
|------|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第4学年 | わり算のしかたを考えよう<br>[わり算の筆算(1)ーわる数が1けた] | 何十、何百を1位数でわる除法計算<br>2～3位数を1位数でわる除法と筆算形式<br>除法の意味の拡張(倍の計算)                                                     | ■2～3位数を1位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力を伸ばす。<br>■基準量を求める場合は、□を用いて乗法の式に表し、除法を用いて□を求めればよいことを理解する。              | ◎・2～3位数÷1位数の筆算の仕方について、数の構成や既習の除法計算を基に考え、表現したりまとめたりすることができる。<br>◎数量の関係を数直線を基にとらえ、□を用いた式に表すことを考え、説明することができる。 | ○2～3位数÷1位数の除法の筆算の手順を基にして、確実に計算することができる。<br>◎未知数を□として乗法の式に表し、□の値を求めることができる。                                                    | ●図、数直線、線分図をていねいに読み取り、言葉の式に表したり、あてはめたりして問題の場面をとらえさせる。<br>●自分が立てた式について、根拠をもった説明をするために表や図、数直線、線分図を活用する。<br><br>●よりよく考えを説明するために既習事項を活用し、話型を整える。 |
|      | 考える力をのばそう「ちがいに目をつけて」                | 図を活用し、2量の差に着目して考える問題                                                                                          | ■分配や移動を伴う2量の差に着目し、問題構造を図に表して問題を解決することを通して、問題構造を簡潔にとらえられる図のよさに気づくとともに、問題を解決する能力を高め                                              | ◎分配や移動を伴う2量の差に着目して、関係を単純化してとらえ、言葉や図、式を用いて説明することができる。                                                       | ◎問題の構造を、分配や移動を伴う2量の差に着目して、線分図に表して考え、図を用いて、説明することができる。                                                                         |                                                                                                                                             |
|      | わり算の筆算を考えよう[わり算の筆算(2)ーわる数が2けた]      | 何十でわる除法計算<br>2～3位数÷2位数、3位数÷3位数の除法と筆算形式<br>仮商のたて方と修正の仕方<br>除法について成り立つ性                                         | ■3つの数の加減計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それらを用いることができるようにする。                                                                        | ◎・整数の除法の計算の仕方について、見積もりや除法の性質、既習の除法計算を基に考え、表現したりまとめたりすることができる。                                              | ◎・整数の除法の筆算の手順を基にして、確実に計算することができる。                                                                                             |                                                                                                                                             |
|      | 計算のやくそくを調べよう[計算のきまり]                | ( )を用いた式の計算順序<br>四則混合の式の計算順序<br>分配、交換、結合法則の理解と活用<br>乗法について成り立つ性質                                              | ■計算の順序に関わるきまりについて理解するとともに、四則に関して成り立つ性質について理解を深め、必要に応じて活用できるようにする。                                                              | ◎四則に関して成り立つ性質を用いて計算を簡単に行う工夫について考え、表現することができる。                                                              | ◎四則混合計算や( )を用いた式の計算や、四則に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を工夫することができる。                                                                        |                                                                                                                                             |
|      | どのように変わるか調べよう[変わり方調べ]               | 2つの数量の対応関係を表に表したり、□や○を用いて式に表したりすること                                                                           | ■伴って変わる2つの数量について、それらの関係を表を用いて調べ、式に表して、2つの数量の関係を明らかにする能力を伸ばす。                                                                   | ◎伴って変わる2つの数量の関係を、表を用いて手際よく調べたり、□や○などを変量を表す記号として用いて式に表し関係を簡潔にとらえたりすることができる。                                 | ◎伴って変わる2つの数量の関係を、表に表して変化の特徴を読み取ったり、□や○などを用いた式に表したりすることができる。                                                                   |                                                                                                                                             |
|      | どんな計算になるのかな                         | 加減乗除についての演算決定                                                                                                 | ■加減乗除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばす。                                                                                        | ◎問題文を読み、それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決する。<br>◎絵を見て作問し、解決する。                                                        | ◎適切な立式をして、問題を解決することができる。                                                                                                      |                                                                                                                                             |
|      | 考える力をのばそう「共通部分に目をつけて」               | 2つの数量の共通部分に対応・消去し、数量の関係を単純化してとらえる問題                                                                           | ■2量の共通部分に着目し、問題構造を図に表して問題を解決することを通して、問題構造を簡潔にとらえられる図のよさに気づくとともに、問題を解決する能力を高める。                                                 | ◎共通部分に着目して、関係を単純化してとらえ、言葉や図、式を用いて説明することができる。                                                               | ◎小プールと大プールを泳いだ回数と、合計の距離から、それぞれのプールの長さを求める問題を、図を基に考え、図を用いて説明することができる。                                                          |                                                                                                                                             |
| 第5学年 | 変わり方を調べよう[比例]                       | 比例の意味                                                                                                         | ■伴って変わる2つの数量の関係を表を用いて考察することを通して、比例について理解する。                                                                                    | ◎伴って変わる2つの数量の関係を調べる際に、比例という観点をもって考察することができる。                                                               | ◎表から比例の関係を判断することができる。                                                                                                         | ●自分が立てた式について、表や図、線分図を活用して、根拠を明らかにして説明させる。<br>●数直線がかけられるようにする。<br>●よりよく考えを説明するために既習事項を活用し、話型を整える。                                            |
|      | 小数のかけ算を考えよう[小数のかけ算]                 | 小数をかけることの意味<br>小数の乗法の考え方と筆算形式<br>純小数をかけるときの積と被乗数の関係<br>小数の場合も分配、交換、結合法則が成り立つこと<br>純小数倍の意味<br>小数倍を適用する計算(第一用法) | ■乗数が小数の場合の乗法の意味や計算の仕方について理解し、それを用いることができるようにするとともに、小数の場合でも整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解する。                                           | ◎乗数が小数である場合の乗法の意味や計算の仕方について、数直線や乗法の性質などを用いて考え、説明しまとめることができる。                                               | ○乗数が小数の場合の乗法の計算をすることができる。                                                                                                     |                                                                                                                                             |
|      | 小数のわり算を考えよう[小数のわり算]                 | 小数でわることの意味<br>小数の除法の考え方と筆算形式<br>純小数でわるときの商と被除数の関係<br>小数の除法におけるあまりの位取り<br>小数倍を適用する計算(第一、三用法)                   | ■除数が小数の場合の除法の意味や計算の仕方について理解する。                                                                                                 | ◎除数が小数である場合の除法の意味や計算の仕方について、数直線や除法の性質などを用いて考え、説明しまとめることができる。                                               | ◎除数が小数の場合の除法の計算をすることができる。                                                                                                     |                                                                                                                                             |
|      | どんな計算になるのかな                         | 小数の乗除についての演算決定                                                                                                | ■小数の乗法や除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を高める。                                                                                     | ◎図や問題文を読み、それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決することができる。                                                                  | ◎適切な立式をして、問題を解決することができる。                                                                                                      |                                                                                                                                             |
|      | 考える力をのばそう「きまりを見つけて」                 | 図、表、式を用いて数量の規則性を見つける問題解決                                                                                      | ■変化する2つの数量の関係を表や式に表すことを通して、数量関係や規則性を見つける能力を伸ばす。                                                                                | ◎対応する数値を表した表から、対応の規則性を式に表し、その式の意味を説明している。                                                                  | ◎規則性を表した式の数値の意味を考えることができる。                                                                                                    |                                                                                                                                             |
|      | 文字を使って式に表そう[文字と式]                   | 数量の大きさを、文字 x を用いた式で一般的に表すこと<br>数量の関係を、文字 x、y 用いた式で一般的に表すこと                                                    | ■具体的な場面について、数量の関係を文字を用いて式で一般的に表したり、文字を用いた式から数量の関係を読み取って具体的な場面に表したりすることを通して、式を活用する能力を伸ばす。                                       | ◎文字にいろいろな数をあてはめられることを基に、数量の関係を文字を用いた式で表すことの簡潔さや一般性について考える。                                                 | ◎数量の関係を、文字を用いて式に表したり、式から具体的な場面に表したり、文字に数をあてはめて調べたりすることができる。                                                                   |                                                                                                                                             |
|      | 分数のわり算を考えよう[分数のわり算](2)分数の倍とかけ算・わり算  | 分数でわることの意味と計算の仕方<br>分数倍を適用する問題(第一、二、三用法)                                                                      | ■比較量、基準量が分数の場合も、倍を表す数は除法で求められることを理解する。<br>■倍を表す数が分数の場合も、基準量×倍＝比較量で比較量が求められることを理解する。<br>■倍を表す数が分数の場合も、基準量は比較量÷分数倍で求められることを理解する。 | ◎基準量×分数倍＝比較量の式について、倍の意味や数直線を基に考え、説明することができる。                                                               | ◎比較量や基準量が分数の場合も、倍を表す数を除法で求めることができる。<br>◎倍を表す数が分数の場合も、基準量と倍から比較量を求めることができる。<br>◎倍を表す数が分数の場合も、xを用いて数量の関係を乗法の式に表し、基準量を求めることができる。 |                                                                                                                                             |
| 第6学年 | 大きい数の計算を考えよう[たし算とひき算の筆算]            | 3位数と2～3位数の加法計算<br>和が3位数、4位数の場合<br>3位数から1～3位数をひく減法計算<br><small>波及的に繰り下がる場合</small>                             | ■3～4位数の加減法の筆算について理解し、それを適切に用いる能力を伸ばす。                                                                                          | ◎3～4位数の加減法の筆算の仕方を、2～3位数の場合を基に類推して、図や式などを用いて表現し、筆算の仕方を一般化してまとめることができる。                                      | ○3～4位数の加減計算を筆算の手順を基にして、計算が確実にできる。                                                                                             | ●自分が立てた式について、表や図、線分図を活用して、根拠を明らかにして説明させる。<br>●既習事項や公式などを適切に用いて立式させる。<br><br>●よりよく考えを説明するために既習事項を活用し、話型を整える。                                 |
|      | どんな計算になるのかな                         | 分数の乗除についての演算決定                                                                                                | ■分数の乗法や除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばす。                                                                                     | ◎問題文を読み、それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決することができる。                                                                    | ◎適切な立式をして、問題を解決することができる。                                                                                                      |                                                                                                                                             |
|      | 割合の表し方を考えよう[比と比の値](3)比の利用           | 比の意味と表し方<br>比の値の意味と表し方<br>等しい比の意味と調べ方<br>比の相等関係とその活用、比例配分                                                     | ■比と前項(後項)の値から後項(前項)の値を求めることができる。<br>■全体の量を比例配分することができる。                                                                        | ◎比の性質や図を用いて、比の一方の値を求める方法を考え、説明することができる。                                                                    | ◎比の一方の値を求めることができる。<br>◎比を図に表し、比例配分の問題を解決することができる。                                                                             |                                                                                                                                             |
|      | 速さの表し方を考えよう[速さ]                     | 速さの意味と表し方<br>速さに関する公式とその適用                                                                                    | ■速さについて理解するとともに、求めることができるようにし、生活や学習に活用する能力を伸ばす。                                                                                | ◎速さの表し方や比べ方について、単位量当たりの大きさの考えを基に数直線や式を用いて考え、表現することができる。                                                    | ◎速さに関わる数量の関係において、速さや道のり、時間を求めることができる。                                                                                         |                                                                                                                                             |
|      | 考える力をのばそう[全体を決めて]                   | 線分図を用いて全体を1とみたときの、単位量などを求める問題                                                                                 | ■図や表に表すよさを認め、既習の考えを活用して、問題を解決する能力を高める。                                                                                         | ◎線分図を基に、全体量と単位時間当たりの仕事量を割合の関係としてとらえ、説明することができる。                                                            | ◎全体量を1とみることのよさに気づき、場面を図に表して問題を解決することができる。                                                                                     |                                                                                                                                             |
|      | 考える力をのばそう「関係を見つけて」                  | 図、表、式を用いて数量の規則性を見つける問題                                                                                        | ■変化する2つの数量を表に表すことを通して、数量関係や規則性を見つける能力を伸ばす。                                                                                     | ◎対応する数値を表した表から、対応の規則性を式に表し、その式の意味を説明することができる。                                                              | ◎2つの数量の変化の仕方について、対応する数値を表に表すなどして問題を解決することができる。                                                                                |                                                                                                                                             |